

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

広報広聴特別委員会

区議会だよりの、一般質問のレイアウトについて、新たな事務局案に基づき検討しました。

質疑の中で、全体の文字数や写真等の大きさ等について議論し、代表質問とのバランスも重要であるという意見が出されました。

今後は、具体的な変更案を持ち寄り、読者の目線に立ち検討することを確認しました。

次に事務局から、前回の報告以降に Web サイトに寄せられた「ご意見・ご提案」について報告がありました。回答に時間がかかったものは、迅速に回答するよう意見が出されました。

その他、議会図書室の購入図書及び雑誌、定期購読雑誌等の今後の購入予定等について、報告がありました。

決算特別委員会

決算特別委員会は、9月26日の本会議において、議員全員で構成する委員会として設置しました。当初の審査日程を延長し、延べ6日間にわたり、「平成19年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」を審査しました。

決算は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、生活福祉、環境文教の3つの分科会を設置し、適正な予算執行が行われたか調査しました。

分科会の調査報告を受け、総括質疑を行ったのち、意見発表を終え、採決に入ったところ「平成19年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」の議案は、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

なお、委員会での主な質疑には、次のようなものがありました。

- 神田東松下町計画について
- 開発協力金・リンケージと要綱・要領について
- 秋葉原タウンマネジメントについて
- 飯田橋・富士見地域のまちづくりとマネジメントオフィスについて

- 広報戦略について
- 職員の適切な採用について
- 施設使用料について
- 自治体とコンサルの関係について
- 大規模開発の諸手続きについて

【賛成の意見】

所得制限なしの小中学校生の医療費無料化や次世代育成住宅助成などの新規施策を高く評価する。他の事業も、多様な区民ニーズに適切に対応した予算執行であり、区民福祉の総合的な向上が図られた。区民が安心して暮らせるまちづくりに向けて、一層の努力を要望し、賛成する。

(はやお)

神田東松下町計画の予算執行は不自然な状態で行われ、明らかになり、当該予算の執行とその背景には疑惑の目を向けざるを得ない。区、まちみらい千代田、コンサル、民間デベロッパーが区民の目の届かないところで、「まちづくり」を行っている。議会に、極力情報提供をしないという体質の現れと認識せざるを得ない。これらの問題の重要性から決算認定は出来ないという選択もあるが、予算執行全てを否定するという認識までには至らないため、決算は認定する。(中村)

平成19年は、区制60周年の節目の年であり、10年、50年先を目指し、執行機関と議会が共にその礎を築くはずであった。一部事業について議会報告をしなかったことなど、今後、執行機関として反省し、緊張感をもって施策を執行することを指摘し、賛成する。(大串)

平成19年度決算は、区民の目線に立った多くの事業が実施され、区民福祉の総合的に向上に寄与した。都立九段高等学校の土地・建物も、経費を区民の負担に転嫁することなく取得出来るなど、区の努力を評価する。審査過程で明らかになった課題、指摘事項について、区が迅速かつ適切に対応するよう要望するとともに、安定した区民生活の確保に向けた一層の努力を要望して、賛成する。(河合)

【反対の意見】

行財政効率化の視点が職員の削減による財源の生み出しとなり、事業部制、成果主義が

職員やる気に応える仕組みになっていない。神田東松下町計画では、地域住民や議会とともに考え、進めていく視点が欠けている。また、まちづくりの総合調整者であるべき区が、その役割を放棄していると見られる状況も明らかになったことから、反対する。

(寺沢)

官から民への流れを加速させ、行政責任を弱めている。また、景観と環境に大きな影響を及ぼす都市再生事業を進めた。さらに、介護保険施設入所者の負担軽減措置の打ち切りが、とりわけ低所得者の負担増となった。神田東松下町計画では、周辺住民への説明、区議会への報告が不十分であるなどの課題が明らかとなった。以上のことから、反対する。(木村)

平成19年度千代田区各会計歳入歳出決算額

(単位:円)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差額
一般会計	53,065,850,380	51,264,801,744	1,801,048,636
国民健康保険事業会計	4,478,414,087	4,374,115,786	104,298,301
老人保健特別会計	3,658,142,611	3,558,147,387	99,995,224
介護保険特別会計	2,918,979,100	2,836,356,193	82,622,907
合	64,121,386,178	62,033,421,110	2,087,965,068



特別委員会設置

「神田東松下町計画に関する特別委員会」を設置

区は、旧千桜小学校跡地とその隣接する民有地を活用して、住機能の充実を図るとともに、高齢者数の多い当該地区において、定住や交流を視野に入れた新しい区営住宅を創設し、併せて、地域全体のコミュニティ拠点として再生を図ることを基本コンセプトとして、神田東松下町計画を進めています。

本計画では、区営住宅棟と隣接する地権者からなる共同化住宅棟の2棟建てを予定しています。区営住宅棟には、区営住宅に加え、高齢者向け住宅、地域交流施設、防災備蓄倉庫、集会室などの機能の整備が計画され、また、共同化住宅棟には、中堅所得者向けの住宅のほか、スーパーマーケットの誘致などが計画されています。さらに、防災機能などを有する広場の整備も計画されています。

このように、本計画は多岐にわたる機能の整備を計画しているものです。

区議会では、本計画について、さまざまな場面で議論を重ねてきましたが、まちづくりのほか、高齢者福祉、地域活性化、安全安心といった、さまざまな分野の課題に加え、定期借地権の活用など、整備手法についても、さらに議論を重ねていく必要があるものと認識しています。

よって、区議会としては、神田東松下町計画に関し、短期間に集中して、より幅広い視点から調査研究を行う必要があるものと判断し、特別委員会を設置し、調査することになりました。